



LOIS 研専のこれまでの経緯と研究状況

Background and Study Activities of LOIS Technical Committee

若原俊彦

1. はじめに

ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS: Life Intelligence and Office Information Systems) 研専は、オフィス業務の効率化を目指すシステム開発等を目的に昭和 61 (1986) 年にオフィスシステム (OS) として発足し、30 年が経過した。以下、現在に至るこれまでの経緯及び研究状況等について述べる。

2. LOIS 研専の経緯⁽¹⁾

OS 研専の発足にあたって、日本電信電話株式会社研究所の釜江尚彦博士と大阪大学の故真田英彦元教授の御尽力によるところが大きい。発足当時の昭和 60 年代は、日本語ワードプロセッサやプリンタなどが開発され文書作成・蓄積技術などを中心にオフィスにおける電子化・自動化等を目指してオフィス・オートメーション (OA) 学会で研究されていた。更にオフィスの各種機器を接続する通信系システム等の研究の必要性が認識され、電子通信学会にも上記両氏を中心になって OS 研専が設立された。この OS 研専設立当初は、オフィスにおけるシステム等が主な対象であったが、アプリケーションも考慮してソフトウェアや情報関連も含めた発表の場を提供するため、平成 14 年にオフィスシステム (OFS) 研専からオフィスインフォメーションシステム (OIS) 研専と名称変更された。更に、インターネットの普及とともに学生や一般ユーザによるシステム開発や保守・運用などが行われるようになり、その議論や発表の場を提供するため平成 21 年にライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS) 研専と名称変更された。これに伴いライフログやセキュリティなども議論されるようになり、研究会の活性化が一層進んで現在に至っている。

若原俊彦 正員：フェロー 福岡工業大学情報工学部情報通信工学科
E-mail wakahara@fit.ac.jp
Toshihiko WAKAHARA, Fellow (Faculty of Information Engineering, Fukuoka Institute of Technology, Fukuoka-shi, 811-0295 Japan).
電子情報通信学会誌 Vol.100 No.10 p.1064 2017 年 10 月
©電子情報通信学会 2017

3. LOIS 研専の研究状況と特徴

LOIS 研究会は、毎年 6 回の奇数月に開催される研究会と 9 月の情報処理学会との共催によるソサイエティ大会である情報科学技術フォーラム (FIT) 及び 3 月の総合大会の計 8 回が開催されている。LOIS 研究会で取り扱われる分野のキーワードは、研専の HP⁽²⁾ に記されているように、ライフログ、オフィスモデル、コミュニケーション、データマイニング、システムアーキテクチャ、ネットワーク、セキュリティ、ヒューマンインタフェース、その他のアプリケーションである。これらは、基本の要素技術からアプリケーションの応用技術まで広範囲にわたっている。したがって、毎年 3 月は LOIS 研専単独で開催しているが、ほかの月は他ソサイエティの研専だけでなく、情報処理学会や電気学会など他学会の研究会と合同で開催しており、毎年 70~100 件程度が発表されている。なお、総合大会や FIT でも平均 30 件以上が活発に発表されている。また、和文論文誌 D にはオフィス関連の特集号が過去 5 回発行されており、本年は初めて英文論文誌の特集号が 10 月に発行される予定である。以上のように、LOIS 研専は時代とともに名称や取扱い範囲の変更を重ねながらも変化する技術に対応して着実に発展を続けている。

文 献

- (1) T. Wakahara, T. Maki, N. Yamamoto, A. Kodate, M. Okamoto, and H. Nishi, "Trend and Factor Analysis of Office related research in LOIS Technical Committee," IEICE Trans. Inf. & Syst., vol. E-100D, no. 10, Oct. 2017.
- (2) LOIS 研究会, <http://www.ieice.org/iss/ois/jpn/index.html#field>

(平成 29 年 4 月 24 日受付 平成 29 年 5 月 28 日最終受付)



わかはら としひこ
若原 俊彦 (正員：フェロー)

昭 45 東工大・工・電子物理卒。昭 47 同大学院修士課程了。同年日本電信電話公社研究所入所。以来、PCM-FDM 伝送方式、ATM 通信アプリケーション等の研究・実用化に従事。現在、福岡工大・情報通信工学科教授。博士 (工学)、平 24~25 年度 LOIS 研究専門委員長、平 13 OFS 研究賞・OFS 功労賞、平 27 年度本会 ISS 活動功労賞各受賞。